

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年8月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100929		
法人名	有限会社 大樹		
事業所名	グループホーム 大樹	ユニット名	1号館
所在地	〒311-3106 茨城県東茨城郡茨城町越安1993		
自己評価作成日	平成26年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成26年8月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0873100929-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年3月19日	評価機関 決 済 日	平成26年7月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・自然豊かな環境の中でその人らしさを大切にできているかと、職員間で日常的に話し合い、共有出来ていると感じている。</p> <p>・理念に合わない対応があった場合は職員間でお互い注意出来る関係が目標である。</p> <p>・御家族、友人、親戚等の面会が頻繁にあり、利用者への想いを日々感じて介護に従事出来る事。</p> <p>・代表者が無農薬野菜や米等を栽培し、食卓に提供し食の安全に努めている。</p> <p>・利用者の個室は全室南向きになっていて日当たりは良く、真冬でも日中は暖かく過ごしやすい環境である。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者と職員は豊かな自然環境の中で、利用者一人ひとりの意向や希望を大切にし、その人らしく暮らせるように日々話し合いながら支援をしている。</p> <p>南向きの居室の前庭には梅や柿、りんご、さくらんぼ、あんず、イチジクなどが植樹されており、果実の収穫時期には皆で味わい、季節を感じられる生活ができるよう支援をしている。</p> <p>日々の食卓には代表者が無農薬で栽培したお米が使用され、食の安全にも配慮している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護をして行く上で理念を基本とした介護が最も大切であり理念にそぐわない対応があった場合は職員間で注意し、理念を再確認した上で質の向上に取り組んでいる	理念は代表者が作成し、「地域に密着した生活を目指します」を理念の一つに掲げ、玄関や事務室の目に付きやすい場所に掲示している。 介護をするうえで理念にそわない対応があるような場合には、その都度管理者や職員で話し合い、理念に基づいた行動ができるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所周辺は地域の方の花や野菜畑が多く、日常的に顔を合わせる事も多く、散歩の際などは花や野菜など頂いたりしている	利用者は散歩などで近隣住民と挨拶を交わして日常的に交流している。 近隣住民より野菜や花のお裾分けを頂いたり、2ヶ月毎に地元の理美容のボランティアを受け入れている。 地域の住民から出た、「認知症とはどのような病気なのか？」との問いに答えるため、事業所は地域のコミュニティセンターで研修会を開催し、20人から30人の参加を得て認知症に関する研修等を行い、地域住民との係り合いを築いている。	地域のボランティアを含めた地域資源を活用し、地域との交流を更に広げることを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所として地域のコミュニティセンターでセミナーを開催し、理解して頂く機会を設けたり、運営推進会議など地域の代表の方々に訴えている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の区長、民生員、老人会長、家族の代表、町福祉課の方より参加を頂き、ホームの取り組み内容を報告し、意見を参考に進めている 2ヶ月に1回実施している	運営推進会議は家族等や町担当者、区長、民生委員、高齢者クラブの代表で2ヶ月に1回開催している。 行政からは災害時における高齢者の避難場所の検討情報や地域にインフルエンザやノロウイルスの感染者が発生していない等の情報を得たり、事業所からは入居状況等を報告するなど、話し合いで出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	利用者の手続きや事業推進にあたり、町の担当者が電話や訪問する等、連携を取れる体制を作り質の向上に取り組んでいる	管理者は日頃より町担当者に電話連絡や訪問し、生活保護を受給している利用者に関する相談をして助言を得たり、事業所の空き室情報を報告するなど、事業所の運営に関する些細なことでも相談ができるような協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束は行わない」また身体拘束ゼロを目指し全ての職員が認識し介護支援にあたっている なお玄関に身体拘束排除宣言書を作成し表示している 当たり前の自由な暮らしが出来るよう支援している	事業所は「身体拘束排除宣言書」を作成して玄関に掲示している。 職員は利用者一人ひとりに対して見守り重視の支援に努めており、日中は施錠せず利用者が自由に出入りができるように支援している。 現在身体拘束は行われていないが、やむを得ず身体拘束が必要になった場合に備え、「家族等との同意書」や「経過観察記録」、「再検討記録」等を整えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に基づき研修やセミナー等に参加し伝達講習にて全職員が理解し虐待が見過ごされないように防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し必要な場合には関係者に相談できる体制を取っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項を説明し事業所で出来る事を明確に説明し、ご家族からの疑問点を引き出し急変時または重度化について説明し同意を得るようにしている	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の不満や苦情等は日頃から対話を重ね聞き出せるよう努めている またご家族にも苦情、要望等が気軽に出せるよう意見箱を設置している。	職員は家族等が面会に訪れた際に、利用者の日頃の様子や世間話を通じて意見や要望を引き出すように努めている。 利用者の要望でバーベキューを行い、事業所内の懇親を深めている。 玄関に意見箱を設置しているが、家族等から意見や要望を十分に汲みあげるまでには至っていない。	年1回程度無記名の家族アンケートを実施し、意見や要望を汲みあげてを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションを取り、要望や意見等聞くよう心がけているが不満や苦情は言い難い部分もあり把握しきれないこともあると思う	代表者や管理者は、2ヶ月に1回開催する職員会議や日常会話を通じて、職員の意見や提案を聞いている。 職員の提案で誕生会を開催し、利用者や家族等に利用者の誕生会の様子の写真等を送るなど、運営に反映させている。 職員会議議事録を作成するまでには至っていない。	職員会議議事録を作成し、課題や問題点等を議事録として残し、今後の職員会議で活用することを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者も現場に入り職員一人ひとりの日々の努力を把握しており資格取得の支援に努めている	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員が段階に応じたセミナーや研修を受ける機会を確保するよう努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協会、ケアマネジャー協会に加入し会合等で良い点、改善点等話し合う機会を作っている また同業者を訪問し良い点を取り入れたり相互間で改善点など話し合っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今現在何が不安なのかご本人の思いと希望を真剣に受け止め、安心して日常生活を送れるよう個別にコミュニケーションを図り、関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時の対話の中で何が不安で何を必要としているのかを聞き出し、ご家族の思いを受容し、安心できるよう取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	すぐに利用を進めるのではなく、本人家族にとって今何を必要としているのか、安心できるよう支援に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩でもあり日常生活の中で学ぶことも多々あり、共に支えあうという思いの中で信頼関係作りに取り組んでいる		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にはご家族が利用者への面会のみで終わるのではなく職員との話し合いを短時間でも持ち、職員の思い等きめ細かく伝えることで共に支援していくという関係が出来ていると思う		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や馴染みの方がいつでも気軽に来訪出来るよう事業所内での雰囲気作りに努め、面会時にはお茶を飲みながら楽しく過ごせる時間を支援している	職員は利用者の親戚や知人、友人の来訪時には、居室でお茶を飲みながらゆっくり過ごせるよう支援している。 職員は利用者の要望で地元商店での買物などに一緒に出かけ、馴染み店との関係が継続できるよう支援している。 利用者は家族等が付き添って外食に行く場合にも地元の馴染みの食堂に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりが孤立する事がないよう、テーブルや椅子の配置を工夫 ソファ等を活用し利用者同士だけではなく、職員も加わりコミュニケーションを図る努力をしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了しても利用者のその後の経過などを聞いたり、相談にも応じ関係性を断ち切ることなく大切にしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の持っている人格を尊重し、利用者を理解しその人らしく毎日の生活が送れるように支援や援助が出来るよう努めている 尚困難な場合は個別に見直して対応している	職員は日々の暮らしの中で利用者に声をかけ、希望や意向の把握に努めている。 意向の把握が困難な利用者の場合は、利用者の表情やしぐさから思いを汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に生活歴等をご本人、ご家族より聞き、職員が把握し本人のこれまでの馴染みの暮らし方が継続出来るよう支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの出来る事出来ないことを把握し細かい点に配慮しながら、その時の利用者の状態や気持ちを理解して支援に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者がその人らしく暮らせるようご本人や、ご家族の要望を取り入れて、介護計画作成にあたっている また実現可能な計画になるよう担当者会議でモニタリングや課題となる項目を話し合っている	介護計画は利用者と家族等の意向や課題を把握し、計画作成担当者を中心に短期目標は3ヶ月、長期目標は6ヶ月と設定し、職員と話し合って作成している。 作成した介護計画は家族等に説明して同意を得るとともに、3ヶ月毎にモニタリングを行っている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合には、その都度現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の利用者の訴えや暮らしぶりを個別に記録し、食事量・水分・排泄状況をチェックし全職員が把握できるようにしている また申し送りノート等で個別の情報共有を徹底している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	いきなり入居に不安な利用者にはしばらくの間、ホームと在宅の両方の生活を提案している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホームは地域の方の畑に囲まれており野菜や花を頂いたりして交流している 美容師のボランティアの受け入れにて地域の方との協働ができている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を大切にし、利用者や家族等の希望するかかりつけ医への受診の支援をしている また月1回協力医療機関の医師による往診がある 週1回訪問歯科の支援もしている	かかりつけ医への受診は家族等に対応してもらうことを基本としているが、状況に応じて職員が付き添い、受診支援を行っている。 月1回協力医療機関の医師による訪問診療や訪問看護師による健康チェックを行い、適切な医療を受けられるように支援している。 歯科は毎週水曜日に訪問診療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	H25年4月より週2回の訪問看護師の看護を受けている 24時間体制で相談、援助して頂いて対応している また医療機関とも連携を取っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご本人の援助方法に関する情報等を医療機関に提出 ご家族とも情報交換しながら職員が頻繁に見舞い、その際ご本人の状態を医師・看護師から得ている 退院後スムーズにホームにて生活ができるよう情報提供書を頂いている	/		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	月1回の協力医療機関の往診の際に医師に相談をしながら支援に取り組んでいる 重度化、終末期の時には、その都度相談しながら対応している	重度化した場合における対応方針を作成し、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。 現在までに看取りの経験があり、終末期における段階的なターミナルケア計画書を作成し、家族に説明して同意を得ている。 終末期に向けて協力医療機関や職員、家族等と連携してチームで支援に取り組んでいる。	/	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは備えており応急手当の訓練は一部の職員は受けているが全職員には至っていない	/		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しており、消火器訓練も利用者と一緒に実施 夜間を想定した訓練も実施している 地震時も同様	防火管理者は2名選任されている。 夜間想定を含めた避難訓練を年2回実施しているが、課題や問題点を話し合い、その結果を記録に残すまでには至っていない。 地域住民を含めた避難訓練には、事業所に隣接する団地の住民が参加している。 災害の発生に備えて食料品、毛布、タオル、おむつ、懐中電灯を備蓄しているが、賞味期限や数量等を管理するまでには至っていない。	避難訓練後に訓練時の良かった点や反省点、課題を主題とする会議を行い、会議録を作成して次回に活かすことを期待する。 品名、数量、賞味期限等を記載した備蓄品リストを作成して管理することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重した介護を心がけ支援している 特に排泄への声かけには十分に配慮しプライドを傷付けないように努めている	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉遣いや対応に努めている。 排泄時の声かけはさりげなく行い、自尊心を損なわない支援に努めている。 個人情報に関する書類は事務所の書棚に保管し、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や嗜好の把握に努め日常生活の中で表出出来るよう取り組んでいる			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を押し付けることの無いよう配慮し、一人ひとりの利用者の思いを大切にし可能な限り支援している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回理・美容師のボランティアの協力を得ているが、美容室へ出かける方もお送り迎の支援をしている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの力を活かし利用者と職員が出来る限り準備や後片付けを一緒に行っている また夏には庭に栽培している野菜を収穫し調理して楽しんでいる	事業所は利用者一人ひとりの茶碗や箸を用意し、食事を楽しめるように支援している。 職員は利用者と同じ食事を摂り、一緒に会話をしながら楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように努めている。 利用者はできる範囲で下膳等を職員と一緒にしている。 職員は外出時や誕生会、敬老会では、手作りのちらし鮭や混ぜご飯、手作りケーキ、自家菜園で採れた野菜でのトン汁などで四季を楽しめるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量・水分量を個別に記録している また個別の食事形態を把握し、それに応じて提供している 苦手な献立等は他の献立に変えて対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別に義歯と自分の歯のケア 義歯には消毒、殺菌剤を使用 またスポンジで口腔ケアを実施している 週1回の訪問歯科による義歯の調整や清潔保持の為に口腔ケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて個別の排泄パターンを把握 声かけ誘導を促し可能な限りトイレでの排泄を行っている	職員は排泄チェックシートを活用して利用者一人ひとりの排泄パターンやサインを把握し、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。 夜間でもポータブルトイレの使用により、おむつを使用しない支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を朝昼夜の食事の際と10時15時のおやつとの時間と摂取量を把握し一人ひとりの好む飲料や野菜の多い食事にて対応し自然排便につながるよう努めている 1日1回ヤクルトを飲んで頂いている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週4回入浴日と決めている シャワー浴や足浴、清拭等にて対応している 個人の希望や状態により、入浴が出来なかった利用者は1号館、2号館とお互いの入浴日に入浴出来るようにしている	入浴は週4日を基本としているが、要望にそって毎日でも入浴できるように支援している。 入浴を拒む利用者には職員を替えたり、時間をずらしたりして声かけをしている。 体調不良等の場合にはシャワー浴や清拭などで対応している。 柚子湯や入浴剤等を使用して入浴が楽しめるように支援している。 利用者が安心して入浴ができるように、浴用イスなどの福祉用具を備えている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促したり、昼寝を習慣とした利用者には個別の生活パターンを支援している 冬は湯たんぽを使用し暖かく眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に服薬のファイルを作成し職員が内容を把握できるようにしている 服薬時には本人に手渡し服用を確認している また自力で難しい利用者は服薬支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、掃除、食事の片付け等自立できる方には一人ひとりの特技を生かし張り合いがもてるよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望により散歩、買い物、別ユニットの利用者との交流等行っている また春にはお花見、夏にはバーベキューなど楽しんで頂けるよう努めている ご家族より、戸外に連れ出し食事を楽しむなど支援して頂いている	利用者は天気の良い日には利用者の体調に合わせて事業所近辺の散歩コースに出かけたり、事業所のウッドデッキで外気浴を楽しむことができるように支援している。 季節毎に外出計画を立てており、公用車で水戸市植物公園やいこいの村潤沼に出かけたり、地元の運動公園に花見に出かけたりしている。 日常的には近所のコンビニエンスストアなどに随時外出ができるように支援している。 利用者は家族等の協力を得て外食も楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週1回ヤクルトの訪問販売があり、自分で買うことを楽しみにしている利用者がある また管理が困難な利用者には家族より預かり個別に使用を記入し報告している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が掛けたい時はいつでも掛けられるよう対応している 面会が途切れた場合でも家族との電話でのやり取りで安心して頂けるよう支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は南向きになっており、冬は暖かく利用者にとってソファは居心地の良い場所になっている 庭には梅・柿・リンゴ・さくらんぼ・あんず・いちじくなどの果実を収穫し季節を感じ楽しんでいる また周りは菊畑になっており、夏にはグラジオラスなど季節を感じながら過ごしている	門から玄関に至る通路には季節の花々が植栽されていたり、玄関にも花を飾ったりして、季節感のある環境づくりをしている。 ポカポカと暖かい日差しが差し込む開放感のある居間にはソファが配置されており、利用者同士が会話を楽しみながら過ごせる場所となっている。 居間には5畳と4畳半の和室があり、季節のお雛様の段飾りを飾ったり、利用者の憩いの場となっているほか、家族等との語らいの場にもなっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファを置き、くつろげるよう配置している 食堂脇には小上がりがあり工夫している デッキにはテーブル、椅子を置き暖かい日には日光浴をしながらくつろげるよう工夫している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が馴染みの家具や仏壇を置き、お供え物など大切にしている 利用者の支援に努めている	居室にはエアコンやベッド、衣装ケース、カーテン、クローゼットが備え付けられている。 管理者は契約時に利用者や家族等に馴染みの物品を持ち込んでもらえるように説明をしている。 利用者は仏壇や馴染みの箆笥、椅子、家族の写真、テレビ、ラジカセなどを持ち込み、利用者好みの居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・浴室・トイレなどにプレートを掛け工夫している また目の不自由な方の為にトイレの照明は入ると自動でつくようになっている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 大樹

作成日 平成26年8月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域のボランティアを含めた地域資源を活用し地域との交流を更に広げたい	新たな地域資源の活用により、地域とのつながりを広げたい	地域ボランティア、地域の方等を招くイベントを企画し開催出来るよう取り組む	12ヶ月
2	10	家族へアンケートを実施意見・要望を汲み上げられていない	1年に1回家族にアンケートを実施する	1年に1回家族にアンケートを実施し意見や苦情を汲み上げる、面会時など話をする機会をもうける	12ヶ月
3	11	2ヶ月に1回実施しているが会議などで課題や問題点など話をするまで至っていない	会議などで課題や問題点など話し議事録に残すようにする	会議において職員の意見や提案から課題や問題点等を議事録として残して活用し、職員の意見を運営に反映する	12ヶ月
4	35	訓練後の良かった点、反省点、課題を主題とする会議をされていない	訓練後の会議をし会議録を作成して次に活かす	訓練後に良かった点、反省点を話し合い記録する、記録を活かし災害への対策をする	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。